

PoINT Archival Gateway

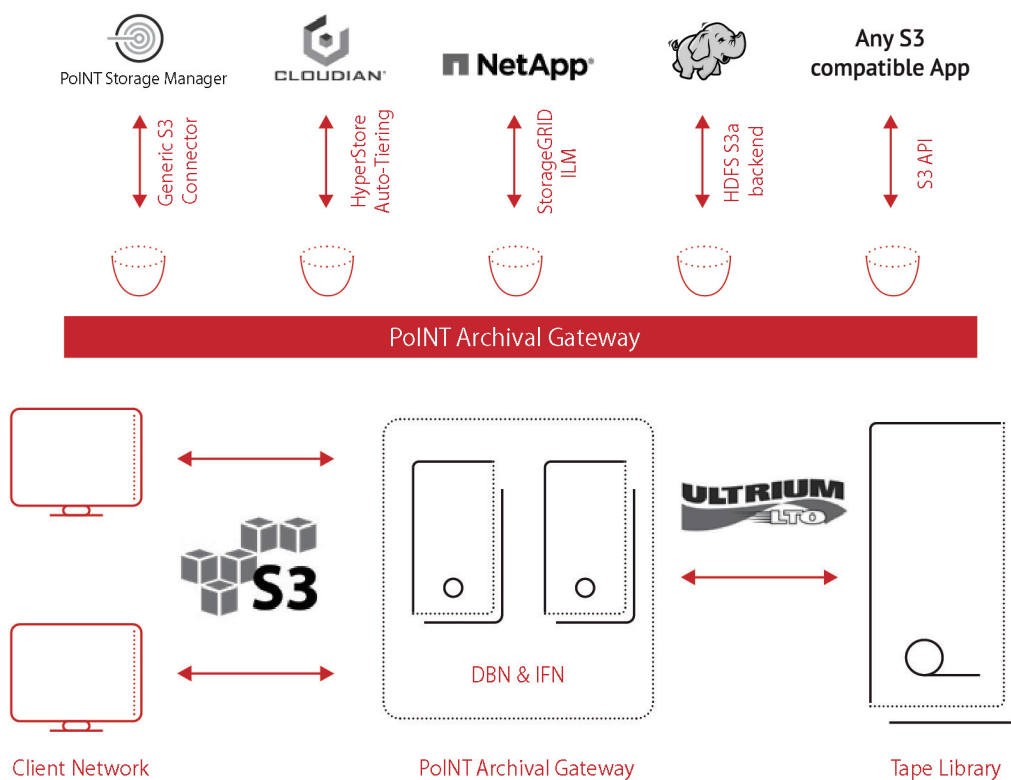
Object Storage for Archiving and Big Data Storage

SSDやHDDを使用したストレージシステムは、非アクティブなデータで一杯です。これは、従来のNASだけでなくObjectストレージでも状況は同じです。ストレージシステムに何ヶ月間もアクセスされない、時には1年以上もアクセスされないデータを保存することは、エンタープライズリソースの無駄遣いです。これを回避するために、多くのNASとObjectストレージ

は、AWS S3互換のインターフェイスを介してのアーカイブ機能を提供しています。これは、S3 Tieringと呼ばれる。非アクティブなデータはS3互換のストレージに移行され、アーカイブされます。PoINT Archival Gatewayは、S3互換でストレージシステムや通常のS3対応クライアントやアプリケーションからのデータを保存します。

S3 ARCHIVING TO TAPE

PoINT Archival Gatewayは、LTOを使用したライブラリーをサポートし、S3インターフェイスからのデータをLTOに記録します。データのレテンション管理やレプリケーション機能もあります。LTOテープは、バイト単価が安くHDDに比べて長期間のアーカイブとオフライン管理が可能です。



Objectストレージで、一番重要なプロトコルは、AWS S3で現在ではデファクトスタンダードです。PoINT Archival Gatewayは、AWS S3互換のサーバー機能を含み、送られて来たデータをLTOテープに記録します。S3 Tiering機能があるストレージシステムは非アクティブなデータを透過的にLTOテープにアーカイブ出来ます。PoINT Archival Gatewayは、S3ストレージシステムにLTOテープを一体化し統合することを実現します。PoINT Archival Gatewayはバックアップデータの保管にも使用出来ます。S3クライアントやS3対応のアプリケーションから直接データを保存することも可能です。

利点

- SSDとHDDストレージの有効活用 (NASとObject Storage)
- 法的なデータ保管の要件を満たすアーカイブを実現
- 3-2-1 backup strategyを実現
- ベンダーロックインからの開放
- IT向け投資コストの削減

特徴

- S3 compatible REST API
- データと管理のセキュリティ管理
- データ保存先での暗号化
- LTOライブラリーの直接サポート
- オフラインメディア管理

S3 REST API

PoINT Archival Gatewayは、AWS S3 REST APIに準拠したインターフェイスで、S3に対応したストレージシステムやアプリケーションからのファイルの送受信を実行します。S3のMPU(Multi-Part-Upload)に対応し、必要なPUTサイズと分割数でクラスターを構成出来ます。

HIGH SCALABILITY AND HIGH AVAILABILITY

PoINT Archival Gatewayは、ノード単位での拡張が可能でシステムとデータ単位での冗長性を提供します。S3互換サーバー機能は、インターフェイスノードで提供されクラスターを構成することでノード間でのロードバランサー機能を提供します。データベースノードは、同期したレプリケーションとクラスターを構成することでフェイルオーバー機能を提供します。

COMPLIANT ARCHIVING

法的な規則に応じたデータ管理が必要なエンタープライズに対して、LTOテープストレージを長期間のアーカイブに使用出来ます。各種のデータ保管規定に応じた期間中のデータの改竄や削除からデータを保護します。

BACKUP COPY FOR OFF-LINE STORAGE

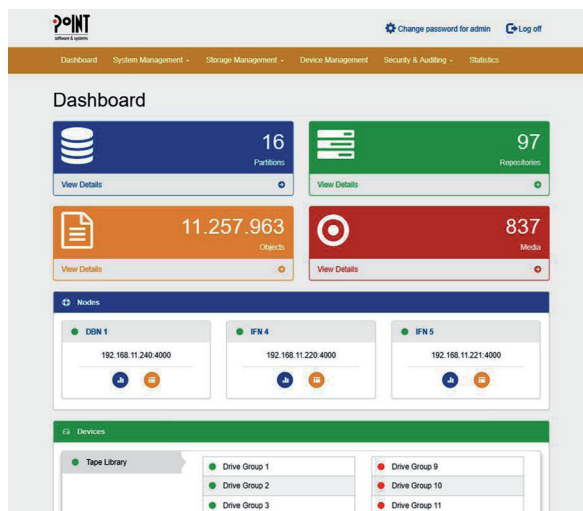
PoINT Archival Gatewayは、S3インターフェイスでLTOライブラリーに透過的にデータを読み書き出来るのでHDDベースのストレージシステムはバックアップデータのオフライン保存先として活用することも可能です。

DATA RETENTION MANAGEMENT

PoINT Archival Gatewayは、長期間に及ぶビジネス上や法的な管理規則に応じたデータ保管の保存期間の管理を提供します。データの保管期間は、オブジェクトリポジトリ単位で指定し有効化出来ます。オブジェクトリポジトリ内のデータに対して変更可能な時期と保管期間に関するポリシーを定義出来ます。この機能で、企業内でのデータ保管規定を定義し、実行出来ます。

DATA AND MANAGEMENT SECURITY

PoINT Archival Gatewayの管理はWebベースの管理ツールとコマンドラインから実行出来ます。データへのアクセスは、AWS S3 APIに準拠しています。これらのインターフェイスへのアクセスは、セキュリティの骨子を定め、それらにアクセス権限を適用することで管理と制限が実行されます。このため、管



理インターフェイスは、ユーザーとグループに対してローカルなセキュリティの骨子を作成する機能を提供しています。オプションとして、外部のセキュリティ定義をアクティブディレクトリーのドメインから適用することも可能です。

TAPE SUPPORT

PoINT Archival Gatewayは、市場にあるほとんど各社のLTOライブラリーシステムをサポートしています。従って、特定のベンダーやシステムを使用することなく、長期的な観点でサポートコストを低減出来ます。テープシステムの入れ換えや増設もバックグラウンドで可能です。LTOカートリッジのバーコードでのオフライン管理もサポートされています。

ADDITIONAL INFORMATION

追加の情報や評価用のソフトウェアは、PoINT本社のホームページの、www.point.deにあります。PoINT Archival Gateway以外のソフトウェアの情報や評価ソフトのダウンロードも可能です。日本語の動作検証等のレポートは、オプティカルエキスパート社Webの、<http://www.optical-expert.jp/index2.html>をご覧ください。

有限会社オプティカルエキスパート
〒141-0022
東京都品川区東五反田5-22-37
Tel: +81 (03) 6805-2210
Fax: +81 (03) 5856-5532
<http://www.optical-expert.jp/index2.html>

Technical Information

Supported Tape Systems

- | | |
|------------|------------|
| BDT | • Quantum |
| • Dell | • Qualstar |
| • HP | • Spectra |
| • IBM | • Oracle |
| • Overland | • Tandberg |

Note: このリストは定期的に更新されて、新しいデバイスが追加されます。最新情報に関しては、PoINT社のホームページをご覧ください。

System Requirements

- Windows Server 2019 or 2016 (VMware supported)